

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	百貨店（営業担当）	・福岡市天神地区の来街者増に伴い、緩やかではあるが消費も改善傾向にある。
		家電量販店（企画担当）	・冬物商品がよく出ているということに加え、新しいDVD、デジタルカメラ、洗濯機等話題の商品が出てくるので、若干良くなる。
		その他飲食〔居酒屋〕（店長）	・今、県外客の目が鹿児島島に向いており、景気はよくなる。
		タクシー運転手	・夜間に大型トラック等の貨物の動きが良くなったので、その影響で少し上向くのではないかと。
		ゴルフ場（従業員）	・「ようこそジャパン」という日本への観光客誘致により入場者数が伸びている。外国人観光客は1割くらい伸びており、向こう3か月も明るい兆しがみえる。
		競輪場（職員）	・例年ならば最も落ち込みやすい2月が好調であり、それを持続しそうだからである。
	変わらない	商店街（代表者）	・今からいろいろと福祉関係が増税になるので、特に年配の人は先を見越して買物を控える人が多くなる。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・大きく伸びる要素もない代わりに、大きく落ち込む要素もない。春に南九州最大の大型商業施設がオープンするため、多少の影響があるかもしれないが、大きなものではない。
		百貨店（営業担当）	・昨年秋よりは動員が戻ってきているものの、街中への来客数は昨年に比べ激減している。早急に対策が必要である。
		百貨店（営業担当）	・5月末に郊外に大型商業施設がオープンするが、大型商業施設との情報交換では、各店ともここ数か月苦戦しており、この状況が3か月先も続く。
		百貨店（営業担当）	・毎年恒例の物産催事でも、客の買上点数が減少し、買物に慎重な姿勢が続いている。必要な物以外は買わない傾向が続き、景気が良くなる要因が見付からない。
		百貨店（販売促進担当）	・良くなる要素がみられない。昨年度は当社の新店舗開店や九州新幹線開業等の効果があったが、本年はそういったものがない。福岡市天神地下街の延長や地下鉄の開業が消費を底上げするとわづかながら期待していたが、効果が大きくはみられない。
		百貨店（業務担当）	・春は様々な購買モチベーションがあるが、最近はその現象が小さくなっている。入学、卒業、就職等により発生する必要な購買が販路の多岐化で分散しているのか、ニーズが減少しているのか分からないが、動き自体は弱い。
		スーパー（店長）	・今月が極めて久しぶりに良かったので、この数字よりも良くなるとは考えられない。
		スーパー（店長）	・前年は3～4月に総額表示導入で売上が極端に下がったが、今年もそれを上回ることはできない。
		スーパー（総務担当）	・衣料品の冬物処分の結果もあまり思わしくなく、春物の動きも今のところあまり好調とはいえない。住居用品、食品については1人当たりの買上点数が幾分少なくなる傾向で、今後とも売上が伸びる要素が見当たらない。
		コンビニ（エリア担当）	・施策として粗利益率の改善が目立つ。売上というより利益確保重視の観点であり、景気回復は期待できない。
		コンビニ（エリア担当）	・一部の業種では景気回復の兆しで収入が多くなり、消費が拡大するのではないかという報道があったが、客の動きを見る限りでは、景気回復した様子も見られず、売上也減少状況が続く。
		衣料品専門店（店員）	・気温が上がれば春物が動き出すと思うが、客の言動に勢いを感じない。
		衣料品専門店（店員）	・昨年あたりからやや悪くなった後、その状況が続いているため、これ以上悪くなるはずはないというどん底にいる。プロパー時期にもかかわらず、セール品を投入していかなければならないような状況が今後も続く。
		家電量販店（店員）	・これから春先に向けて需要が高まってくるが、近隣に大型の競合店舗ができ、パイの奪い合いとなる。需要は伸びるが、競合も多く、店としては変わらない。
		乗用車販売店（販売担当）	・自動車という高額商品の購入に対して、客は以前よりかなり慎重になっていて、商談締結までに時間を要している。これは最近の傾向ともなっている。

	自動車備品販売店（従業員）	・1月は降雪のため、タイヤチェーンの動きが良く売上が上がったが、その反動で2月は売上が低迷した。来月以降も周囲の環境は変わらない。
	住関連専門店（経営者）	・4月中旬までは順調にいくが、家具関連の景気について良くなる材料があまり見当たらず、先行きは不透明である。
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・元売の仕入価格は3月は上昇が予定され、小売価格への転嫁をせざるを得ないが、なかなかマーケットには受け入れられにくいのが現状である。寒さによる灯油の出荷量に期待したい。
	一般レストラン（スタッフ）	・同業者の話から判断すると、あまり変わらない。
	旅行代理店（従業員）	・価格には依然として敏感である。しかし取扱人員は確実に増えつつある。また、ゴールデンウィークの予約が前年より遅い。まだ様子見の感もある。
	タクシー運転手	・客の話によると、なかなか生活が楽にならないので、切り詰めて生活しているという話が多い。また3月は異動の時期であるが、あまり派手な歓送迎会を行わないという会社も多い。
	観光名所（職員）	・昨年は新幹線効果があったが、今年は全くないのでその分落ち込む。ゴルフ場についても天候が一番気になり、特にゴルファーが増えたという話は聴かない。安値で客を取り合うという厳しい状況が続く。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・まもなく宮崎市内に大型ショッピングセンターがオープンし、それに伴って商店街の景気は悪くなる。
	衣料品専門店（総務担当）	・婦人服、宝石商品の販売単価が下がっており、しばらくこの状況が続く。
	高級レストラン（専務）	・愛知万博があり観光客の流れが名古屋のほうに向かっていくのと、個人消費が伸びないことから、やや悪くなる。
	旅行代理店（業務担当）	・春休み旅行の中心である家族ファミリー層の動きが鈍い。社会保険料の負担増をはじめとする増税に備えて、レジャー関連の支出を抑えているようである。
	タクシー運転手	・財布のひもは固く、客は金を出すような状況ではないので、先行きは楽観視できない。
悪くなる		
良くなる		
企業動向関連	やや良くなる	
	農林水産業（経営者）	・ある程度原料仕入れも回復し、工場の稼働も上がってくる。販売面は、異動時期、行楽シーズンであることから、昨年のインフルエンザの騒動のようなことがなければある程度は期待できる。
	家具製造業（従業員）	・家具ビジネスでは、デフレから高額商品と低額商品の二極化へと移行しつつある。高額商品については、動きが活発であることに加え、異業種からの参入などもあり、需要は広がっている。
	鉄鋼業（経営者）	・大幅な需要回復とまではいなくても、各種資材の調達難などで工期が遅れていた物件が動き出すため、4月ごろからは販売量も回復する。
	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関連での電子部品の動きは、在庫調整から春以降やや持ち直すと期待している。大手ユーザーもそのような見方をしているので、やや良くなる。
	不動産業（従業員）	・金融機関の設備資金等の対応が積極的になっている。
	広告代理店（従業員）	・今月も売上が前年比110%であったほか、件数・枚数ともに同110%を超える実績となった。この数か月順調に売上の伸びがみられ、今後もこのまま推移する。
	その他サービス業〔物品リース〕（役員）	・取引先からの案件の増大のほか、大型案件の引き合い等がぼちぼち出てきた。
変わらない	建設業（総務担当）	・建築工事はそこそこあるが、土木工事は年度末の予算消化の工事の発注があるだけで、非常に厳しい。倒産件数は減少しているが、潜在的な予備軍は多数あるようである。
	輸送業（総務担当）	・正月以降、全体的に荷物が動いていない。今後もしばらくこのまま良くなる要素がない。
	金融業（営業担当）	・製造業は車関連の受注が増えているが、消費者に近いサービス業、飲食業、小売業はまだ売上に伸びがみられない。3か月は変わらない。
	広告代理店（従業員）	・春の商戦に向けて思い切って広告料を投入するところも何社があるが、全体的には低調さを脱していない。
やや悪くなる	輸送業（従業員）	・輸送取扱量が徐々にではあるが下降気味で、運賃も低下傾向になってきた。

		通信業（職員）	・受注量、利益ともに低迷が続いている。人員削減からくる人員不足による受注量低下という悪循環に陥りかけている。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌製作会社 （経営者）	・新卒対象者の説明会も始まったようであり、総体的にムードは明るくなっている。ただ依然として業種によって好不調がはっきり分かれており、建設関係、サービスは著しい状況が続いている。
		新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・求人数が大分動いているので、良くなる。
		職業安定所（職員）	・事業所は売上が出てきているようで、そのために人が欲しいというような状況が見受けられる。求人は今後も出てくる。ただし収益自体は上がっていないので、企業の経営自体はあまり良くないようである。
変わらない	職業安定所（職員）	・パート、臨時、請負求人の増加傾向が続いている。	
	民間職業紹介機関（職員）	・1月から営業職の求人が倍増している。メーカー、商社、サービス業は業績が好調であり、販売力強化を行っている。今後も求人数は増加が見込める。	
	民間職業紹介機関（支店長）	・人材派遣需要の大口顧客である情報・通信、デジタル家電業界に一部抑制の動きがみられる。半導体部品メーカーの中には、契約期間を従来よりも短縮化するなど、慎重姿勢が出始めている。	
やや悪くなる	求人情報誌製作会社 （編集者）	・4月から求人広告業界大手の進出が計画されている。広告代金の値引きや無料掲載などのサービス攻勢で、地元の限られた資本で経営をしている当社にはかなりの影響が出そう。また、既存大手との競争が一段と激化し、市場は活性化されるが、競争力の乏しい当社には悪影響である。	
	悪くなる	-	-